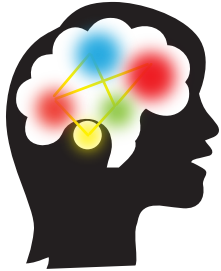
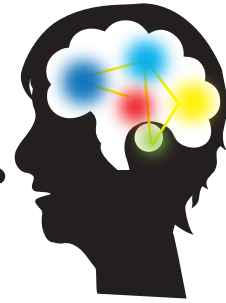


本セミナーは
専門以外の人も、
専門の人も、
楽しめる内容に
なっております。



平成 26 年度
第 2 回
脳コミュニケーション研究室セミナー

コーディネーター
システム情報系知能機能工学域助教 川崎真弘



社会性認知・コミュニケーションの 脳科学

講演者 明治大学理工学部 准教授

博士 (工学) 嶋田総太郎 氏

〈プロフィール〉

専門分野認知科学、神経科学一般。

2007 年第 20 回安藤博記念学術奨励賞受賞。

講演概要

自己と他者の身体が脳内でどのように表現され相互作用を持つのかについて理解することは人間の社会性認知能力を知る上で重要である。ミラーシステムと呼ばれる脳領域は、自己と他者の共有身体運動表現を担っており、自分が運動をするときと他者が同じ運動をするのを観察したときで同じような活動を示す。このような共有身体表現は、自己と他者が内的状態を分かち合い、相互理解する上で重要な役割を果たすと考えられている。しかしながら、他者運動の観察はいつでもミラーシステムを活動させるわけではなく、諸要因によって活動が変動することがわかってきている。本発表では、ミラーシステムの活動を变化させるいくつかの要因について取り上げ、特にコミュニケーションに関わるミラーシステムの機能について検討する。さらに「応援」をトピックとして取り上げ、報酬系とミラーシステムの関わりについて考察を加えたい。

2014 年 7 月 18 日 (金)

13 : 00 - 14 : 30

第 3 エリア工学系 3A212 定員 35 名

i お申し込み方法 【入場無料】

お申し込みは、メールにて承ります。

mkudo@iit.tsukuba.ac.jp (担当工藤)宛に、
件名を『第 2 回脳コミュニケーション研究室セミナー
参加申込』とし、本文に所属・氏名をご記入の上、
お申し込み下さい。

【共催】 テニュアトラック普及・定着事業第 28 回若手セミナー

セミナー会場
工学系 A 棟
2 階 3A212

1 階
食堂
粉クリ

理科系

中央図書館

セミナー会場周辺図